

私の住む宮城県石巻は、市の計画によると現在復旧期にあるそうです。仮設住宅の状況は、借り上げ住宅含め約一万二千戸、二万八千人超の市民が不自由な暮らしをしています。最近では仮設住宅のカビや床の傷みが激しく、健康面からも住み続けることが難しいと考えている人が続出していると聞きます。産業の復旧も道半ば。再建がかなった企業、商店は半数にも満たないでしょう。

参院選で自民党が優勝し、ねじれ解消に沸くニュースを見るにつけ、そこには原発も復興も無く、国家的な風化を痛感

東北 復興日記

51



一ノ蔵
マーケティング室長
山田好恵さん

心のケア 継続支援を

しました。しかし、被災の私ですら、今は更地とている人は少なくない。地では震災疲労が蓄積になった実家に立ち寄るたびに、ややもすると精神的にも肉体的にもバランスを崩してしまいがちな人になりま。写真。

元気がふるまっている人にも、心に闇を抱え

障害(PTSD)を発症したり、仮設に限らず環境が一変したことでDVやアルコール依存症が増えたことはメディアでも伝えられてはいる通りです。

ハード面の復旧も喫緊の課題ですが、そこに暮らす人の心のケアもまた大変深刻です。長期化する仮設暮らしの高齢者を見守り孤独死させない、心のケアを必要とする人を孤立させない。無自覚のままひたすら頑張り続ける人々に寄り添いなが

ら共に生きていく道を見つげるために、今私にできることは、声を発することしかありません。

この連載は、東京のNPO法人「女子教育奨励会」と、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結核プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。